

みんなの川を守る

僕の住む奈良県五條市には、「吉野川」が流れています。法律で定められた名称は「紀の川」ですが、特に奈良県を流れているときは「吉野川」と言います。そして、僕が通っている五條東中学校の校歌には、「窓を開ければ吉野川」という一節があります。吉野川は五條市の人々にとつて身近なものであり、大切な存在です。五月には川岸に大きな鯉のぼりがたくさん上がり、夏には吉野川祭りでも多くの人々が花火を見に来ます。五條の中心は吉野川と言っても過言ではありません。古くはエジプト文明やインダス文明など大きな川のおかげで発展しました。川を流れる水は作物を育てたり、生活用水に使われたりします。また、川の流れに乗り、船で遠くの町との往来ができるため、物や人の移動も容易に行えます。そして、たくさんのお資や

五條市立五條東中学校

二年

窪上 裕太

情報が手に入りやすくなります。このように川の流域では人が住みやすくなるための文明も発展していくのです。このように川は人々の暮らしや文化と深く結びついています。しかし吉野川も含めて、全国的に川の水質汚染が問題となつています。それは単純にゴミのポイ捨てなどが原因でもありません。また、台風などの大雨によって川が氾濫しそうになってくるのを見かけます。その度に僕はとても心配になります。吉野川も昨年、川の水位が橋桁ぎりぎりまで押し寄せたことがあります。昭和三十四年の伊勢湾台風では、氾濫によって約八千人もの人に被害が出たこともあります。では、川を汚染を防いだり、災害から身を守ったりするにはどうすればよいのでしょうか。まず、川の汚染の問題です。きれいな川に

はアユやヤマメが生息していますが、吉野川にはまだアユが放流され、生息しています。どうか魚の住める環境下にはあるものの、この状況を守り、もったきれいな吉野川にしていく必要があります。何よりすぐにできることは、ゴミの不法投棄をしないことです。そして、中学生でもポスターなどで河川美化を訴えかけたり、実際にゴミ拾いなどのボランティアにも参加したりできるので、僕も実行に移したいと考えています。

川の恩恵を受けながら生活をしている以上、氾濫など川の災害のことにも気を配っておかなければなりません。災害を未然に防ぐことも大切ですが、災害発生時の準備もしておきたいと思います。ハザードマップを活用しながら、どこが安全で、どこが危険なのか、避難場所などの確認を今一度したいです。

吉野川が穏やかに、そして雄大に流れゆく様子を見ながら、水の音を聞いているだけで僕は心が落ち着きます。こんな姿を後世に伝えていきたいなと思います。僕たちの身近にあり、暮らしや文化を支えてくれる川。みんなの川をみんなでするために、できることを

こつこつと積み重ねていきましょう。